

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会

第 8 回 募金・協賛推進特別委員会

会議資料



2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター  
「キャッフィー」「チャッフィー」

日時：平成 31 年 3 月 28 日（木）14:00～16:00  
会場：滋賀県大津合同庁舎 7-B 会議室

**第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る  
平成 30 年度 取組実績（案）**

**1 寄附の実績（H31. 3. 26 現在）**

平成 30 年度実績 **59,288,958 円**

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	14 件	44,530 円	
企業・団体	17 件	59,030,228 円	
イベント	23 件	112,972 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金
据置き募金箱	—	72,728 円	
その他	1 件	28,500 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))
計	55 件	59,288,958 円	(使途) 競技力向上 278,781 円 施設整備 59,010,177 円

<参考>

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計
件 数	2 件	78 件	93 件	110 件	55 件	338 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,407 千円	59,289 千円	144,082 千円

## 2 主な取組

### (1) 個人

#### ① 街頭やイベント会場での募金活動の実施

より多くの方に大会開催の周知と募金に協力いただけけるよう、寄附返礼グッズとして、新たに大会マスコットキャラクターを活用したピンバッヂを作成し、缶バッジやステッカーと併せてイベント等での募金活動で活用した。

また、県内アスリートの協力を得て、街頭募金活動を実施するとともに、大会マスコットキャラクターであるキャッフィー・チャッフィーと一緒に両大会の周知および募金活動を実施した。

#### >寄附返礼グッズの作成

ピンバッジ 1,000 個

#### > 街頭募金活動 (9/21 J R 石山駅、J R 彦根駅) … Ⓐ

参加者：東レアローズ、江上陽子選手（パラバトミントン）、田中浩二選手（シッティングバーボール）、立命館大学体育会ラグビー部およびバスケットボール部、びわこ成蹊スポーツ大学バスケットボール部、滋賀県スポーツ協会、滋賀県障害者スポーツ協会他 合計 75 名

#### > スポーツイベント等での募金活動

- ・滋賀県開催準備委員会第6回総会(5/21 琵琶湖ホテル)
- ・「みんなで創る 健康しが」キックオフイベント(7/21 イオンモール草津) … Ⓛ
- ・第3回 BIWAKO 湖フェス 2018 (8/4 サンシャインビーチ)
- ・日本生命みんなの 2020 全国キャラバン(9/1・2 イオンモール草津)
- ・全国市町村交流レガッタ(9/15 滋賀県立琵琶湖漕艇場)
- ・福井しあわせ元気国体・大会結団壮行式 (9/20 ピアザ淡海)
- ・イナズマロックフェス (9/22~24 烏丸半島芝生広場)… Ⓛ
- ・交通安全フェア(10/13 ドラゴンハット)… Ⓛ
- ・近江ゆかりの会(10/16 東京：品川プリンスホテル) … Ⓛ
- ・ご当地キャラ博 in 彦根(10/20・21 彦根市夢京橋キャラスルロード周辺)
- ・ここ滋賀1周年記念イベント (11/3 東京：ここ滋賀)
- ・スポーツフェスティバル(11/10・11 イオンモール滋賀)
- ・びわ湖男女駅伝フェスティバル(11/25 希望が丘文化公園)
- ・Vプレミアリーグ (12/2 ウカルちゃんアリーナ)
- ・「食」が「健康」を考えるフォーラム (12/2 ビバシティ彦根)
- ・車いすバスケットボール大会 BIWAKOCUP2018  
(12/16 における浜ふれあいスポーツセンター)
- ・近畿マシンローリング大会(1/20 ウカルちゃんアリーナ)
- ・2024国スポ記念講演(2/2 ピアザ淡海)
- ・びわ湖レイクサイドマラソン (2/24 烏丸半島 (フィニッシュ地点)) … Ⓛ
- ・地域スポーツシンポジウム(3/3 立命館大学)

・びわ湖毎日マラソン大会（3/10 皇子山陸上競技場）

② クラウドファンディングの手法を用いた寄附募集の実施

「選手の発掘・育成および強化」「施設整備」にかかる寄附募集にあたり、手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、クラウドファンディングを活用した寄附を募った。（実施期間：4/2～3/31 JapanGiving、19,000円（手数料控除前））

③ スポーツイベント等とのタイアップの実施

イベント会場での広報・募金活動の他、「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。

・びわ湖レイクサイドマラソンチャリティーランナー 57名 28,500円

④ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設への設置協力を依頼し、今年度、24カ所設置した。

・平成30年度末募金箱設置箇所 105カ所（平成29年度末 81カ所）  
72,728円（3/26現在）

（2）企業・団体

① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼

各種企業・団体への直接訪問や、団体の例会や企業に対する説明会等において、大会の開催準備状況を説明のうえ、寄附を依頼した。

・企業・団体：16回（うち出前講座も兼ねて実施したもの：6回）

② 寄附者にメリットのあるメニューの提示

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼を行うとともに、寄附者にメリットのある寄附手法をメニュー化して提示し、企業のニーズに応えられるような提案を行った。

③ マスコットキャラクターを活用した使用料の受け入れ… ①

企業等が商業目的で大会マスコットを活用し、使用料として受け入れた。  
…使用料のため寄附額に計上はしない。

3 寄附金を活用した事業展開

① 「選手の育成および強化」のためにいただいた1,000万円については、平成30年度に実施した競技力向上事業に充当した。

➢次世代アスリート発掘育成プロジェクト 500万円… ④①

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約30名を選考。「滋

賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

**>競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援） 200万円**

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

**>ターゲットエイジ重点強化事業 300万円**

滋賀で開催する国スポにおいて少年種別の主力となる選手（ターゲットエイジ：小学校4～6年生）を指定し、重点的に強化事業を実施

## 平成30年度の取組実績

個人

A



B



平成30年9月21日  
街頭募金



平成30年7月21日  
「みんなで創る 健康しが」キックオフイベント

C



平成30年10月13日  
交通安全フェア

D



平成30年9月22～24日  
イナズマロックフェス2018

E



平成30年10月16日  
近江ゆかりの会

F



平成31年2月24日  
びわ湖レイクサイドマラソン

**F**

The brochure contains sections on:

- 寄附の方法 (Methods of Contribution):** Includes instructions for bank transfer, QR code for mobile payment, and a form for cash contributions.
- 寄附の用途 (Use of Contribution):** Details the use of funds for sports equipment, venue improvement, and personnel costs.
- 寄附の税制上の特徴 (Tax Benefits of Contribution):** Explains how contributions can be deducted from taxes.
- 寄附の感謝状 (Letter of Appreciation):** A sample letter of thanks for a contribution.

**G**

The pin badge features two mascots, Kappafy (キャラッフィー) and Chappafy (チャッフィー), holding torches. Text on the badge includes:

- 2024 滋賀 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
- おらえんない キャッチと応援し隊 ピンバッジ
- 2024滋賀国体全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター「キャラッフィー」「チャッフィー」
- このピンバッジの代金は国体・全国障害者スポーツ大会の競技力向上や施設整備のために一ツ大会として活用します。キャラッフィーと一緒に国体・全障スポを応援しよう。

**H**

## 湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ 2024

The logo features two mascots, Kappafy (キャラッフィー) and Chappafy (チャッフィー), holding torches. The text includes:

- 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
- 滋賀県障害者スポーツ振興会議
- 2024年3月19日

**I**

A group of men in suits stands on a stage, each holding a certificate. To their left is a large blue and white mascot (Kappafy) and to their right is a large pink and white mascot (Chappafy).

**J**

Three packages of pins are shown, each featuring the mascots Kappafy and Chappafy. The text on the packages includes:

- 2024滋賀 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
- 滋賀県障害者スポーツ振興会議
- 寄附付き ピンバッジ
- このピンバッジの代金は国体・全国障害者スポーツ大会の競技力向上や施設整備のために一ツ大会として活用します。キャラッフィーと一緒に国体・全障スポを応援しよう。

**K**

A group of young athletes in red and white uniforms are seated on chairs, holding certificates. They are standing in front of a banner that reads "次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ第3期生 修了証授与式".

**L**

Young athletes in red and white uniforms are performing a dance or exercise routine on a gymnasium floor.

**M**

**寄附金の活用 (Use of Contribution Funds)**

**N**

**マスコットキャラクターを活用した商品開発 (キャラクター商業目的利用)**

**K**

A group of young athletes in red and white uniforms are seated on chairs, holding certificates. They are standing in front of a banner that reads "次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ第3期生 修了証授与式".

**L**

Young athletes in red and white uniforms are performing a dance or exercise routine on a gymnasium floor.

**M**

**次世代アスリート発掘育成事業  
「滋賀レイキッズ」**

## 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金に係る 平成31年度 取組計画（案）

平成31年度においては、平成30年度に決定した愛称・スローガンのロゴデザインやマスコットキャラクターを用いた寄附返礼グッズや大会専用ホームページの活用による募金活動の展開、愛称・スローガンロゴやマスコットキャラクターを用いた寄附商品の委託販売、PRグッズ等の活用による企業への働きかけの強化などを主軸として、以下の取組を進める。

### 1 個人

引き続き寄附受付の手段を拡大するとともに、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

#### （1）寄附商品委託販売の検討・実施（新規）

マスコットキャラクターを活用した募金グッズを製作し、委託販売者の店舗等で販売。手数料を除く、売上金を寄附とする仕組みを整備

#### （2）寄附返礼グッズの充実

募金協力向け、幅広い世代を対象とした愛称ロゴやマスコットキャラクターをデザインしたピンバッジ等の寄附返礼グッズを充実

#### （3）街頭やイベント会場での募金活動の実施

寄附返礼グッズ等を活用し、県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施

#### （4）クラウドファンディングによる寄附の受入れ

手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、インターネット寄附ポータルサイトを活用して寄附を受け入れるとともに、大会専用ホームページとの相互リンクにより寄附募集を周知

#### （5）マスコットキャラクター「キャッフィー」の着ぐるみ製作に係る寄附募集の実施

「キャッフィー」着ぐるみの老朽化に伴い、着ぐるみを新調するにあたり、クラウドファンディングも活用し、寄附募集を実施

#### （6）募金箱の設置箇所の拡大

県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を積極的に拡大

#### （7）学校との連携

県内の学校等と連携協力により、若い世代の発想を活かした寄附募集の機運醸成を図る

##### ➢ 募金箱デザインコンテストの実施

平成29年度に引き続き、県内の小中学校等に、募金箱に貼付するステッカーの

デザイン募集を行い、入賞作品を県内各所に設置する募金箱に貼付のうえ活用

#### (8) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施拡大

## 2 企業・団体

直接訪問による寄附依頼を引き続き実施するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけरるような、多様な手法を積極的に提示する。

#### (1) 直接訪問による具体的なメニューの提示

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼を行うとともに、寄附者にメリットのある寄附手法をメニュー化して提示し、企業のニーズに応えられるような提案を行い、さらなる寄附を獲得

##### ➢ 「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」の実施

企業・団体名の入った寄附グッズを作成・配付することで、企業等による大会への寄附機会の拡大に併せ、寄附グッズの活用を通じ、大会および本県のスポーツ推進を周知

##### ➢ 「飲んで応援！プロジェクト」の実施

特定非営利活動法人寄附型自動販売機普及協会の協力のもと、寄附型自動販売機を活用し、自販機設置協力者（設置オーナー）があらかじめ設定した飲料一本あたりの寄附額に基づく寄附を受入

#### (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼

県内外の企業への訪問を実施するとともに、県内の商工団体をはじめとする各種団体、国内各地の滋賀県人会の協力を得て、大会開催の周知に併せ、ふるさと滋賀での大会開催に向けた寄附の依頼を引き続き実施

## 3 寄附金を活用した事業展開

「選手の育成および強化」のためにいただいた 50 万円については、平成 31 年度に実施する競技力向上事業に充当。

#### (1) 次世代アスリート発掘育成プロジェクト 25 万円

引き続き「滋賀レイキッズ」に対し、育成プログラムを実施し、将来のアスリートを育成

#### (2) 競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート強化） 25 万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

## 具体的な寄附メニューの提示について

### 1. 「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」について

- 寄附いただいた企業・団体のうち、希望者に対して、企業・団体名を記載した「寄附グッズをお渡しします。
- 「寄附グッズ」は、寄附いただいた企業・団体が滋賀のスポーツを盛り上げるサポーターであることをPRするための広報にご活用いただけます。
- グッズの内容・数量等は、企業等のニーズに応じ設定します。(グッズの制作経費は寄附額の2割を限度とします。)

&lt;イメージ&gt;

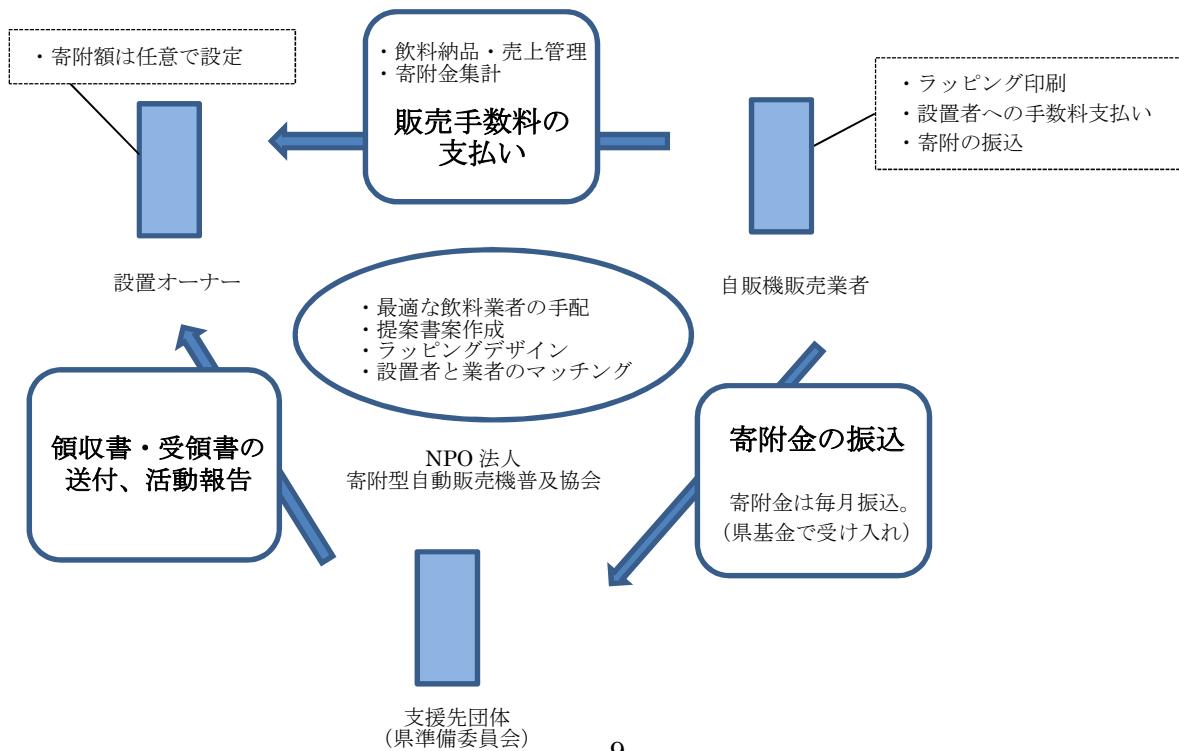


&lt;寄附グッズ&gt;

- ・横断幕
- ・のぼり旗
- ・マグネット 等

### 2. 「飲んで応援！プロジェクト」について

- NPO法人寄附型自動販売機普及協会のご協力を得て、自販機での飲料売上の一一部を定期的に寄附金として納付いただけます。



# 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 組織図

(平成30年5月21日現在)

事務局: 県民生活部スポーツ局 国体・全国障害者スポーツ大会準備室

## 総 会

- 各年度の事業計画・予算、事業報告・決算等の審議
  - 常任委員会への委任事項の決定
  - 大会開催基本方針の決定
  - 特別委員会の設置
- 【年1回開催】

委 任

報 告

報告・  
提言等

## 常 任 委 員 会

- 総会からの委任事項(各基本方針や計画等)の審議・決定
- 専門委員会の設置、委任・付託事項の決定

## 特 別 委 員 会

【必要に応じ開催】

### 子ども・若者参画 (ジュニア・ユース チーム)

H 25 設置

- 子ども・若者の視点や考えを反映
- 調査、提言等

### 募金・協賛推進

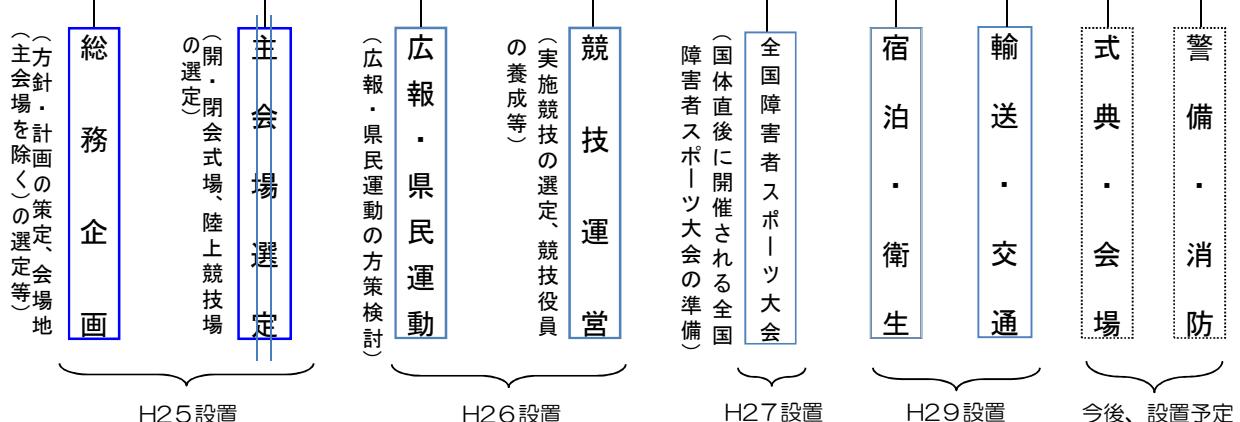
H 26 設置

- 募金・協賛の推進

## 専 門 委 員 会

- 常任委員会からの付託事項の審議・(案)の策定
- 常任委員会からの委任事項の審議・決定

【年数回開催】



<b>総 会</b>	<b>会長(知事)、副会長9名</b> (県議会議長、副知事、県スポーツ協会会长、県障害者スポーツ協会会长、県教育委員会教育長、市長会会长、町村会会长、滋賀経済団体連合会会长)、 <b>顧問6名</b> (県選出国会議員)、 <b>参与56名</b> (県議会議員、県教育委員会委員、報道各社代表)、 <b>委員265名</b> (各市町長、各市町議会議長、各関係機関・団体の長、県部長級職員、県警本部長等)、 <b>監事3名</b> (県会計管理者、市町会計管理者の代表) <b>合計 340名</b>
<b>常任委員会</b>	<b>委員長(会長)、副委員長9名</b> (副会長)、 <b>常任委員73名</b> (県議会副議長・関係委員会委員長、各市町長、主要機関・団体の長) <b>合計 83名</b>
<b>子ども・若者参画特別委員会</b>	県内の子ども・若者から公募等により選任
<b>募金・協賛推進特別委員会</b>	経済・社会分野、スポーツ分野等から選任
<b>各専門委員会</b>	各々の設置目的に応じ選任

# 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会 構成図

平成30年5月21日現在

<b>会長（1名）</b>	知事	<b>副会長（9名）</b>	県議会議長、副知事、(公財)滋賀県スポーツ協会会长、県障害者スポーツ協会会长、県教育委員会教育長、市長会会长、町村会会长、滋賀経済団体連合会会长			
<b>顧問（6名）</b>	県選出国會議員					
<b>委員（265名）</b> ※○は常任委員(73名) ※委員総数としては、委員のうちから選任された副会長9名を含めた273名						
<b>県議会関係（7名）</b>		<b>学校関係（20名）</b>	<b>スポーツ関係（90名）</b>			
○ 副議長		滋賀県私立幼稚園協会会长	○ (公財)滋賀県スポーツ協会副会长(5名)・理事長			
○ 県民生活・土木交通常任委員会委員長		滋賀県公立幼稚園・こども園長会会长	各都市体育協会・スポーツ協会(16協会)会長			
“ 副委員長		○ 滋賀県小学校長会会长	○ 滋賀県小学校体育連盟会会长			
○ スポーツ振興対策特別委員会委員長		○ 滋賀県中学校長会会长	○ 滋賀県中学校体育連盟会会长			
“ 副委員長		○ 滋賀県高等学校長協会会长	○ 滋賀県高等学校体育連盟会会长			
スポーツ振興議員連盟 代表		○ 滋賀県私立中学高等学校連合会会长	○ 滋賀県スポーツ推進委員協議会会长			
“ 副代表		○ 滋賀県特別支援学校校長会会长	滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会长			
		滋賀県専修学校各種学校連合会会长	○ 滋賀県障害者スポーツ協会副会长(6名)			
		県内各大学(12大学)学長	滋賀県スポーツ少年団本部長			
<b>県関係（16名）</b>		<b>産業・経済関係（19名）</b>	○ 滋賀県レクリエーション協会会长			
○ 各部長等		滋賀県スポーツ指導者協議会会长	滋賀県スポーツ指導者協議会会长			
○ 警察本部長		滋賀県企業スポーツ振興協議会会长	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会会长			
公営企業管理者等		スペシャルオリンピックス日本・滋賀会長	各競技団体(51団体)の長			
○ スポーツ推進審議会会长						
<b>市町関係（21名）</b>		<b>通信・運輸・交通関係（15名）</b>				
○ 各市町長(副会長以外)		西日本電信電話(株)滋賀支店長				
○ 都市教育委員会連絡協議会会长		(株)NTTドコモ関西支社滋賀支店長				
○ 町村教育委員会連絡協議会会长		KDDI(株)理事 関西総支社長				
○ 都市教育長会会长		ソフトバンク(株)総務本部地域総務部長				
○ 町村教育長会会长		西日本旅客鉄道(株)執行役員近畿統括本部京都支社長				
		近江鉄道(株)代表取締役社長				
		京阪電気鉄道(株)執行役員大津鉄道部長				
		信楽高原鐵道(株)代表取締役社長				
		西日本高速道路(株)執行役員関西支社長				
		中日本高速道路(株)執行役員名古屋支社長				
		○ (社)滋賀県バス協会会长				
		○ (社)滋賀県タクシー協会会长				
		○ (社)滋賀県トラック協会会长				
		滋賀県旅客船協会会长				
		(公財)滋賀県交通安全協会会长				
<b>市町議会関係（19名）</b>						
○ 市議会議長会会长						
○ 町村議会議長会会长						
各市町議会議長(上記以外)						
<b>国関係（4名）</b>		<b>宿泊・観光・衛生関係（5名）</b>				
近畿運輸局滋賀運輸支局長		○ (社)滋賀県旅行業協会会长				
近畿地方整備局滋賀国道事務所長		滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長				
近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長		○ (社)滋賀県食品衛生協会会长				
自衛隊滋賀地方協力本部長		(公社)滋賀県栄養士会会长				
		(社)滋賀県調理師会会长				
<b>監事（3名）</b>						
県会計管理者						
市会計管理者代表						
町会計管理者代表						
<b>計 340名</b>						

平成 27 年(2015 年)8 月 31 日  
第 3 回 総 会 決 定  
平成 29 年(2017 年)7 月 31 日  
第 5 回 総 会 改 正

## 第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱

(趣旨)

**第 1 条** この要綱は、平成36年(2024年)の第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。

(推進)

**第 2 条** 募金は、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会（以下「開催準備委員会」という。）が推進する。

- 2 開催準備委員会の構成員は、連携協力して募金の推進にあたるものとする。
- 3 開催準備委員会は、募金を推進するための計画を策定するものとする。
- 4 前項の計画は、進捗状況等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

(名称等)

**第 3 条** 募金は、「第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金」という名称を用いて行うものとする。

- 2 募金は、前項の名称のほか、必要に応じ愛称を用いて行うことができる。

(対象)

**第 4 条** 募金は、滋賀県内外の個人および企業・団体を対象として行うものとする。

(期間)

**第 5 条** 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 第 7 条第 1 号に掲げる経費のための募金　開催準備委員会の総会の議決により定める日から大会最終日まで
- (2) 第 7 条第 2 号に掲げる経費のための募金　平成29年 7 月 31 日から大会最終日まで
- (3) 第 7 条第 3 号および第 4 号に掲げる経費のための募金　平成27年 8 月 31 日から開催準備委員会の総会の議決により定める日まで

(受入れ)

**第6条** 募金による寄附金は、滋賀県が受け入れ、滋賀県国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金に積立てるものとする。

(使途)

**第7条** 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1) 大会運営に要する経費
- (2) 大会の広報に要する経費
- (3) 大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (4) 大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

(謝意表明)

**第8条** 寄附者に対しては、開催準備委員会会長が別に定めるところにより、謝意を表明する。

(雑則)

**第9条** この要綱に定めるもののほか、募金の推進に関し必要な事項は、開催準備委員会会長が定める。

#### **附 則**

この要綱は、平成27年8月31日から施行する。

#### **附 則**

この要綱は、平成29年7月31日から施行する。

平成27年(2015年)8月31日  
第3回総会決定

## 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 募金推進計画

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金推進要綱（以下「要綱」という。）第2条第3項の規定に基づき、寄附を通じた第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）への参加を促進するため、次のとおり計画的かつ戦略的に募金を推進するものとする。

### 1. 推進体制

開催準備委員会の構成員は、各々の会員や加盟団体等に募金の周知を図るとともに、寄附の呼びかけを行うものとする。また、募金に係る広報活動等の取組についても連携協力して行うものとする。

### 2. 推進に向けた視点

次の3つの視点に基づき、取組を推進する。

#### (1) 「寄附したいと思っていただくための工夫」

滋賀や大会を応援したいという思いの醸成を図る。

#### (2) 「気軽に寄附していただくための工夫」

寄附しようと思った時に、気軽に寄附できる環境を整備する。

#### (3) 「活動を持続させるための工夫」

長期間にわたる募金を持続させるために必要な工夫を行う。

### 3. 具体的な取組

#### (1) 様々な募金活動の展開

##### ア 個人

- ・ 県内の方をはじめとして、県外在住の滋賀ゆかりの方にも寄附を呼びかける。
- ・ 大会記念物品等の購入を通じた寄附を呼びかける。
- ・ 公共施設や民間施設に募金箱を設置する。また、募金箱については、スポーツイベントをはじめとする各種イベント時にも設置するなど寄附機会の拡大を図る。
- ・ 駅や商業施設等において、街頭募金を原則として年に1回実施する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

#### **イ 企業・団体**

- ・ 県内の企業・団体をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの企業・団体についても直接訪問するなどにより寄附を依頼する。また、県内に事業所等があり県外に本社がある企業については、必要に応じ本社を訪問して寄附を依頼する。
- ・ 寄附については、通常の寄附のほか、寄附付き商品の販売、主催イベントの参加料や運営する施設の利用料に寄附を含める方法などについても協力を依頼する。
- ・ 職場募金への配慮を依頼する。
- ・ マスコットキャラクターのグッズ販売等について協力を依頼する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

#### **(2) 戦略的な広報活動の展開**

- ・ インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物等の多種多様な媒体を活用して戦略的に広報を行う。また、必要に応じ大会開催のプレイベント等との連携を図る。
- ・ 広報にあたっては、選手の動向や思いを発信するなどにより、募金の趣旨に共感してもらうための工夫をする。
- ・ 寄附について税の優遇措置があることを周知する。

#### **(3) 学校との連携協力**

- ・ 県内の大学をはじめとした各種学校と連携協力し、若い世代による募金を含む大会全般を盛り上げる取組を実施する。（例：募金箱コンクール、広報物のデザインコンテスト、募金アイデアコンペ等）

#### **(4) 滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼**

- ・ 各種広報活動やイベントへの出席等について協力を依頼する。
- ・ グッズ等の「モノ」のほか、一緒に何かをする権利等の「コト」の提供についても協力を依頼する。

#### **(5) 寄附への謝意表明**

- ・ 礼状の送付その他の方法で謝意を表明する。
- ・ 同意がある場合は、インターネットや開催準備委員会の総会等を通じ、氏名または名称を公表し、その厚意を讃える。

#### **(6) 結果のフィードバック**

- ・ 寄附金を充当した事業の実績や成果について、レポートを作成しインターネット等を通じ公表することなどにより、寄附者に報告する。

#### **(7) 様々な支払手段の設定**

- ・ 募金専用納付書の作成や、募金箱の設置、クレジットカードによる寄附、その他インターネットを活用した寄附など様々な支払手段を設定し、手軽に、かつ気軽に寄附できるための環境整備を図る。

#### **(8) メリハリをつけた推進**

- ・ 週単位または月単位の取組集中期間を設ける。
- ・ 取組の開始時期をあえてずらしたり、進捗状況等を踏まえて刺激となる新たな取組を追加するなどにより息切れを防ぐ。

### **4. 推進計画の進行管理**

推進計画については、取組の進捗状況等を「募金・協賛推進特別委員会」において毎年検証するとともに、要綱第2条第4項の規定に基づき、必要があるときは、開催準備委員会の総会の議決を経て変更する。

## 全体スケジュール

#### ○募金の期間

### ○具体的な取組

斜線	H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
					開催内定		開催決定		リハーサル大会	開催
	スタート・ダッシュ			キープ			スパート			
様々な募金活動の展開										
個人										
寄附の呼びかけ	インターネット、リーフレット、広報誌等の多種多様な媒体を活用して寄附を呼びかけ(記念品等の購入による寄附含む) 県内の方をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの方にも呼びかけ									
募金箱の設置									県内どこでも見かけるように設置 (+イベント時)	
街頭募金の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				開催内定イベント			開催決定イベント			開催直前イベント



# 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 ～開催に向けた2019年度の主な取組～



## 開催準備委員会

負担金 45,000千円

### (1) 各競技会場地の選定

- ◆国スporte式競技の会場地選定については、調整中の8競技のうち、調整が終了したものを第5次内定（案）として、国スporte公開競技と障スporte式競技についても調整が終了した競技について第1次内定（案）として、2019年4月開催の「総務企画専門委員会」で審議のうえ、5月開催の「常任委員会」に諮り決定する。（残る競技については、2019年度中に調整。）
- ◆内定済みの競技については、引き続き中央競技団体の正規視察を受け入れ。
- ◆国スporteデモンストレーションスポーツ、障スporteオープン競技の募集を開始。

### (2) 開催準備委員会における大会準備

#### ①「開催基本構想」の策定

- ◆大会準備・運営および大会終了後のレガシー創出の指針となる「開催基本構想」を2019年5月の常任委員会で策定。

#### ②競技運営にかかる検討

- ◆国スporteの競技会運営において資格が必要な役員等の養成を進めるとともに、国スporteにおける役員編成について、具体的な検討に着手。
- ◆大会開催時に必要な競技用具整備に向けた具体的な検討に着手。
- ◆リハーサル大会の開催基準要項の策定に着手。

#### ③宿泊・衛生にかかる検討

- ◆大会開催時の配宿計画作成の前段階となる仮配宿計画を策定するほか、宿泊施設充足対策要項策定に着手。

#### ④輸送・交通にかかる検討

- ◆総合開閉会式における輸送計画を検討するとともに、各市町の輸送業務の指針となる会場地市町輸送・交通業務指針策定に着手。

#### ⑤全国障害者スポーツ大会特有の準備

- ◆大会開催時に必要な情報支援ボランティアの養成に向けた検討を実施。

#### ⑥式典・会場・警備・消防にかかる検討

- ◆式典・会場、警備・消防の専門委員会を新たに設置し、基本方針策定に向けた検討を実施。

### (3) 開催機運醸成に向けた取組

#### ①広報・県民運動の展開

- ◆開催内定を記念したイベントを実施するほか、大会に向け、大会マスコットキャラクター「キャッフィー＆チャッフィー」を積極的に活用するとともに公共交通機関を活用した広報やスポーツイベントにおける広報を行い、大会の認知度向上に努める。
- ◆大会専用ホームページを通じた情報発信を積極的に実施。
- ◆県民運動の具体的な取組内容について検討を実施。

#### ②寄附募集の推進

- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、広報活動と連携しながら、県民・企業の皆様に対し、積極的に呼びかけを実施。
- ◆いただいた寄附金は、「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費や、(仮称)彦根総合運動公園・新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。

#### ③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム第6期)活動の展開

- ◆他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として、小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、両大会はもとより、広く県のスポーツ推進に関する課題等について調査研究を実施。

**「開催申請書」の提出**

◆文部科学省および公益財団法人日本スポーツ協会へ開催申請書を提出し、国民スポーツ大会の開催内定を得る(2019年7月17日予定)。

**市町競技施設整備費補助 376,300千円**

◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

**基金の積立て 等 28,508千円**

◆「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆様からいただいた寄附金を積み立てるとともに、一部を取り崩し、2019年度に実施する競技力向上対策事業に充当。  
(2018年度末残高見込:約3,683百万円、2019年度事業充当 500千円)